



国立看護大学校・山路ふみ子文化財団の 名画特別上映会を開催しました

国立看護大学校 秋の公開講座・清瀬市 きよせ健幸大学 共催

2023年11月21日(火)に、国立看護大学校・山路ふみ子文化財団主催の名画特別上映会を開催しました。上映会では映画「ペコロスの母に会いに行く」を鑑賞頂き、その前後で映画に関する講義も行われました。認知症をテーマにしたこの映画に関して、上映前は認知症の概要に関する説明が、上映後は認知症の方とその家族との関わり方について、映画の場面を取り上げながら説明がありました。

当日は、約200名の方がご参加くださり、講義後の質問も活発に行われました。ご参加の皆様、誠にありがとうございました。



ご挨拶
国立看護大学校
大学校長 萱間真美



ご挨拶
山路ふみ子文化財団
理事長 岩崎光洋様



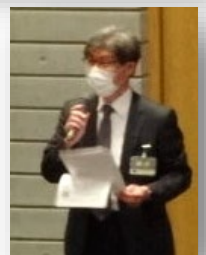
ご挨拶
山路ふみ子文化財団
理事 田村やよひ様



講義：認知症の概要、
認知症の人との関わり方
老年看護学准教授 大竹恵理子



山路ふみ子文化財団・山路ふみ子専門看護教育研究助成基金の
ご厚意で、山路ふみ子自叙伝を先着100名の方にお配りしました。



実行委員長
研究課程部長 綿貫成明

参加者アンケート（抜粋）

- ・認知症の方とその家族の様子がとてもリアルに描かれていて、認知症の方への接し方について勉強になった。
- ・とても良い内容でした。認知症の現状がわかりやすく、悲観的な内容ばかりでなく、感動しました。
- ・介護者である家族の思いが伝わってきて、息子のことを忘れてしまった場面と橋の上で大好きな人たちにまた会えたように描かれた場面では心が苦しくなった。